

町長旗争奪スポ少野球大会 豊間根スポ少が優勝を飾る

10月1日と2日、第23回町長旗争奪スポーツ少年団野球大会が開催されました。大会は町総合運動公園で行われ、町内の少年団7チームが出場。選手たちは日ごろの練習の成果を発揮し、打撃に守備にと随所に光るプレーを見せていました。熱戦の結果、決勝で10対3と磐石な強さを見せた豊間根野球スポ少が優勝。準優勝に織笠野球スポ少が輝き、最優秀選手賞には豊間根野球スポ少の佐々木海斗君が選ばれました。また、2日には第1回井上義一旗争奪中学校野球大会も行われ、山田中学校が優勝しています。



豊間根小で大道芸イベント 妙技の連続に目がくぎ付け

東京都の路上アーティスト登録制度に所属する6組のアーティストが10月5日、豊間根小学校体育館で多彩な大道芸のステージを披露しました。「東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業」として実施された今回のイベントは、軽快なリズムで会場を盛り上げたストリートジャズ演奏や、登場と同時に注目を一斉に集めた人気のヨーヨー、技が決まるたびに思わず息を飲む中国雑技アクロバットなどバラエティ豊かで楽しめる内容となりました。目の前で次々と披露される華麗でユーモア満載の演技に、会場は終始笑いと拍手に包まれていました。

津波に負けずに育った稲 「ど根性米」を無事に収穫

福士新一郎さん(74)＝大沢＝が津波をかぶった水田の一部約1㍓で育てていたあきたこまちが見事に育ち、10月5日に稲刈りが行われました。自宅横での倉庫に保管されていた稲の種もみは津波により被災しましたが、芽が出ているのを発見した福士さんは田植えを決意。水田にはガラスなどのがれきが多く残っていて、家族や仲間と共に手作業で一つ一つ取り除きました。9月の台風で稲が倒れるなど何度もアクシデントに見舞われましたが、毎日朝夕と欠かさず様子を見てきた稲は、塩害にも負けず高さ約1㍓ほどに立派に育ちました。収穫作業をしながら稲に実ったお米を一つ一つ確認する福士さんの表情は、穏やかにこれまでの苦労をかみ締めているようでした。



津波に負けずに育った稲の実りに感謝し笑顔の福士さん(上写真)／収穫はご家族3人と助っ人の7人で手刈りを行いました。





今月の題字

道又 凜くん
(大沢小3年)

町のわだい

沿岸の理容組合らが合同イベント 町民の体も心もリフレッシュ

10月10日、沿岸地域の理容組合員らによる合同イベント「がんばっぺす山田！」が保健センターで開催され、多くの人で賑わいました。会場には、理容組合スタッフによる無料マッサージコーナーが開設。日ごろの疲れを癒そうと多くの町民が訪れ、体も心もリフレッシュしていました。また、屋外では町飲食組合による牛丼などのお振る舞いや町内小学生グループによるストリートダンスの披露、社交組合による無料カラオケも開かれ、会場を沸かせていました。



放課後児童クラブでミニ公演 体いっぱい音楽を楽しむ

10月1日、ニューヨークフィルの打楽器奏者のジャスティン・ハインズさんを含む音楽家7人が山田南小の放課後児童クラブで「トモダチ作戦・ウィズ・ミュージック」の公演を行いました。文化交流を通じ、子供たちに元気になってもらおうとアメリカ大使館と任意団体「くらしに音楽プロジェクト」が主催したもので、「ひょっこりひょうたん島」などのなじみのある曲のほか、ハインズさん自らが作曲した「バケツに穴が開いた」を演奏。子供たちはドラムに見立てたバケツを一緒にたたいたり、演奏の中に隠された音を探そうと耳を澄ませるなど体全体で音楽を楽しみました。

船越小児童がストリートライブ 元気に踊る姿に大きな拍手

船越小学校3学年の児童らは、10月4日に船越駅前地域住民を前にソーラン節を披露しました。『ストリートライブ2011』と題して行われたこの催しは、代々受け継がれてきたソーラン節で復興への願いや地域との絆を広めるために企画されたものです。児童ら一人一人は「家族、地域を元気にしたい」、「みんなを喜ばせ笑顔にしたい」などの思いを込めて毎日練習し、ポスターやチラシの作成も行いました。オリジナルの「ロックソーラン」や「ニューソーラン」など3種類のソーラン節を披露し、一生懸命に踊る児童の姿に100人を超える観客から盛大な拍手が送られました。

